

事業名	資源管理型漁業推進事業
予算区分	県単（漁業管理調整課）
事業実施期間	令和6年（継続実施）
担当者	木本翔
共同研究機関等	なし

〈目的〉

漁業法の改正に伴い、漁獲可能量による管理を行う「TAC 管理」の対象魚種の拡大を進めている。ブリやサワラ、マダイは、TAC による資源管理に移行する魚種とされているが、これら3魚種は遊漁者にも採捕されており、遊漁採捕量が資源に影響を与えると考えられている。しかし、その度合は不明であり、精度の高い資源評価や公平な資源管理のためにも、遊漁者による採捕実態の把握が急務とされている。そこで、遊漁者による採捕実態の把握を目的とし、資源管理型漁業推進事業の一環として、鳴門海峡周辺で遊漁船業を営む遊漁船業者に操業日誌の記帳を依頼し、採捕量や操業隻数等について調査した。

〈方法〉

7月から、鳴門海峡周辺で遊漁船業を営む遊漁船業者4業者の標本船日誌調査を実施し、ブリ、サワラ、マダイの採捕尾数に加えて、遊漁者の乗船人数、周辺他船隻数等を調査した。

〈結果〉

標本遊漁船業者におけるブリ、サワラ、マダイの採捕尾数及び合計操業回数を図1に、合計乗船人数及び合計他船隻数を図2に示した。

〈今後の課題〉

特になし。

〈次年度の計画〉

継続する。

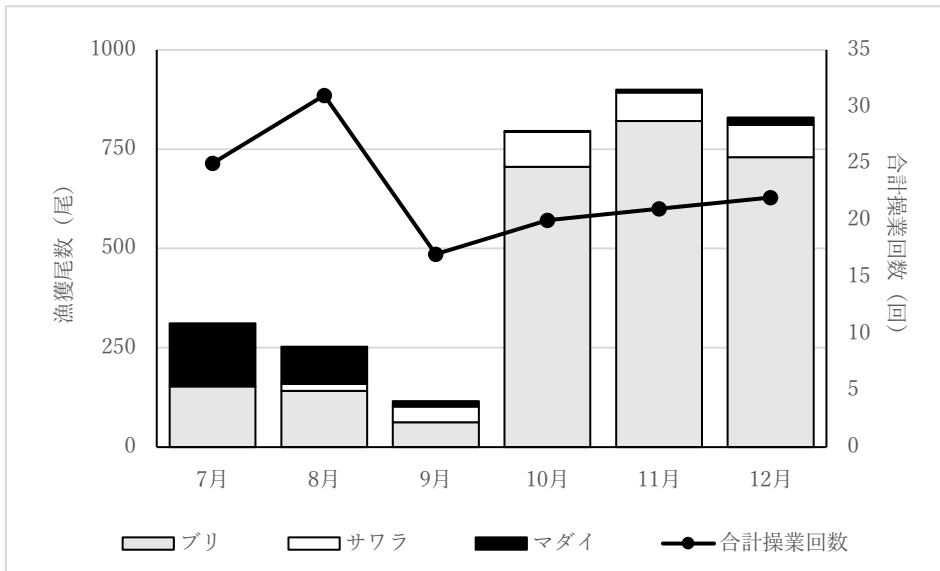


図1 採捕尾数及び合計操業回数の推移

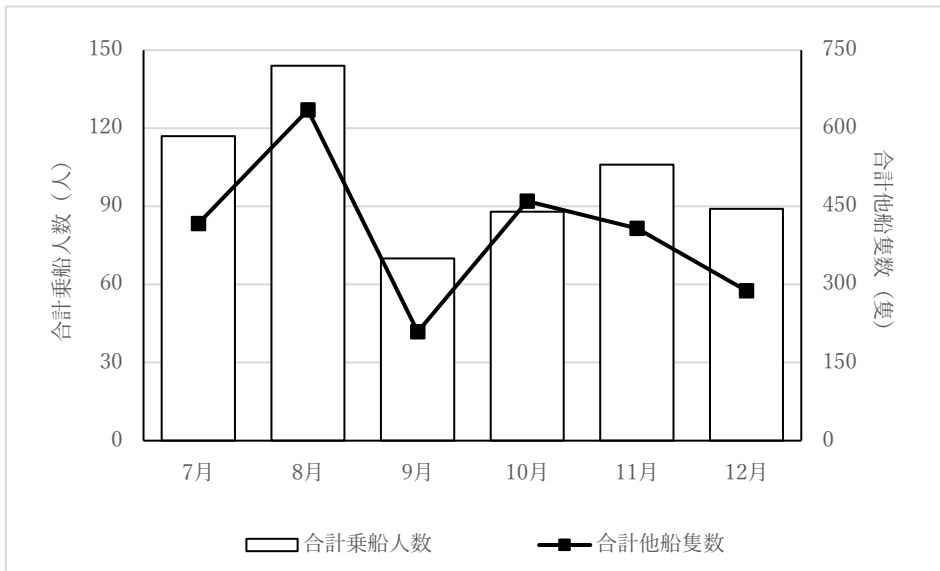


図2 合計乗船人数及び合計他船隻数の推移